

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	庁舎管理業務・庁舎省エネ対策事業																							
所管課	45	管財課	(総務部)																							
事業の目的 ・庁舎管理経費の節減、現在の省エネルギー事情への対応、CO ₂ 削減を目的に庁舎設備の省エネ化を図る。 ・本庁舎においては、LED照明を導入するなど設備の省エネ化に試験的に取り組み、市内各施設での導入検討の参考事例にするほか、市民に向けての啓発機会とする。					宇陀市一般会計予算																					
					区分	No.	区分名																			
					款	2	総務費																			
					項	1	総務管理費																			
					目	3	財産管理費																			
細目	1	本庁財産管理費																								
根拠条例等	宇陀市庁舎管理規則 他																									
総合計画	基本計画 第1章 第1節 自然環境の保全と活用																									
H25年度事業の概要	OLED照明試験設置 ・来庁者の目に付きやすく点灯時間の長い照明設備のうち一部をLED照明に交換する。 今年度については照明器具の交換が庁舎全体としてどれくらい の節電効果になるのかを計る試験設置として、次の箇所で実施。 【3 F】各事務フロア蛍光灯 【1 F】通路部分のダウンライト 等 約 200箇所の交換を予定			財源の内訳 (単位:千円)																						
	事業の成果 ・庁舎電気使用量の節減 ・庁舎管理経費の節減 ・二酸化炭素ガス排出量の削減 ・市民に向けての省エネ・CO ₂ 削減に対する啓発活動の促進			<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H25予算額</td><td>A 5,000</td></tr> <tr><td>H24当初予算額</td><td>B 158</td></tr> <tr><td>H24現計予算額</td><td>158</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>A-B 4,842</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	5,000	H25予算額	A 5,000	H24当初予算額	B 158	H24現計予算額	158	増減額
分担金																										
使用料																										
国費																										
県費																										
市債																										
その他																										
一般財源	5,000																									
H25予算額	A 5,000																									
H24当初予算額	B 158																									
H24現計予算額	158																									
増減額	A-B 4,842																									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況																						
決算額又は決算見込額(千円)		158																								
従事職員数【人工】		0.10																								
人件費(人工×8,000千円)		800																								
総事業費:人件費含む(千円)		958																								
活動指標名	節電効果																									
活動指標の算式	達成率(%)=(H23年度電気使用量/実施年度〃)-1																									
活動指標の実績		1	%																							
単位当たりコスト(円)		958,000																								
事業の目標	・節電効果及び電気料金の節減 ・本庁舎での試験導入の結果を参考に、市内の公共施設をはじめ各家庭での省エネ化促進に寄与させる。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (7)地球環境に配慮した施策																				

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公有財産DB化及び公有財産システム化業務				
所管課	45	管財課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	新地方公会計制度の基準に対応するため、市が保有する公有財産に関する土地・建物を調査整理するとともに、公有財産をデータベース化することにより適正な公有財産管理を行うことを目的とする。 また、本業務で実施する公有財産に関する調査整理を行うための人員を、新規雇用者で実施することにより、雇用の創出を行うことを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	3	財産管理費
細目	1	本庁財産管理費					
根拠条例等	・地方行革新指針(H18年8月) ・総務省「公会計の整備推進について」(H19年10月)						
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進						
H25年度事業の概要	適正な公有財産管理を行うことを目的に、市が保有する公有財産に関する情報を洗い出し、必要なものについては現況確認を行いながら、一元的なデータベースを構築する業務を委託する。 さらに、新地方公会計制度の基準に対応できる公有財産の管理システムを構築する。 業務については、緊急雇用創出事業を活用する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市が保有する公有財産の一元的なデータベースを構築することにより、資産ごとの再調達価格や耐用年数が把握でき、新地方公会計制度や適切な施設管理に対応することができる。				使用料		
					国費		
					県費	16,025	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A 16,025	
					H24当初予算額	B	
					H24現計予算額	9,338	
					増減額	A-B 16,025	
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		/			緊急雇用創出事業特別交付金 16,025千円		
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		事業費/全体事業費					
活動指標の実績		単位	37	単位	%		
単位当たりコスト(円)							
事業の目標		市の保有する公有財産をデータベース化することにより、新地方公会計制度の基準に対応する適切な公有財産管理を行う。 また、新規雇用者等で業務を実施することにより、雇用の創出を行う。				<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (2)公有財産データベース化及びシステム化事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行補助								
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名				
					款	2	総務費				
					項	1	総務管理費				
					目	4	企画費				
細目	1	本庁企画費									
根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱										
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実										
H25年度事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス業者に運行経費の補助を行う。 奥宇陀線(上内牧系統) 3,000千円 桜井菟田野線 800千円				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金		使用料		国費		県費
事業の成果	民間バス路線の維持 【平成23年度実績】 奥宇陀線(上内牧系統) 年間利用者数 3,444人 桜井菟田野線 年間利用者数 38,288人				一般財源	3,800					
					H25予算額	A	3,800				
					H24当初予算額	B	4,624				
					H24現計予算額		4,624				
					増減額	A-B	▲ 824				
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況								
決算額又は決算見込額(千円)	3,237	3,624									
従事職員数【人工】	0.10	0.10									
人件費(人工×8,000千円)	800	800									
総事業費:人件費含む(千円)	4,037	4,424									
活動指標名	利用者数										
活動指標の算式	—										
活動指標の実績	3,444	単位 人					3,500	単位 人			
単位当たりコスト(円)	1,172						1,264				
事業の目標	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保			

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	1	本庁企画費							
根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実								
H25年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	バス路線の維持 平成23年度利用者数 1日平均35.5人 運行日数 243日				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	500			
					H25予算額	A 500			
					H24当初予算額	B 500			
H24現計予算額	500								
増減額	A-B								
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		500	500						
従事職員数【人工】		0.05	0.05						
人件費(人工×8,000千円)		400	400						
総事業費:人件費含む(千円)		900	900						
活動指標名		利用者数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		8,603	単位	人			8,603	単位	人
単位当たりコスト(円)		105		105					
事業の目標	バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	3	代替バス運行事業費					
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H25年度事業の概要	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間の市営有償バスを運行する。 運行便数: 10便/日 使用料: 大人350円 小人180円				財源の内訳 (単位: 千円)		
					分担金		
事業の成果	平成19年度より奈良交通バス撤退路線の代替バスとして運行を行った。 【平成23年度実績】 運行日数 243日 年間利用者数 1,522人 運行便数 2,430便				使用料	650	
					国費	1,386	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,222	
					H25予算額	A 4,258	
					H24当初予算額	B 5,295	
H24現計予算額	5,295						
増減額	A-B ▲ 1,037						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,065	4,200		榛原大野線バス使用料 650千円 地域公共交通確保維持改善事業補助金 1,386千円			
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費: 人件費含む(千円)	4,865	5,000					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	1,522	単位	人	1,982	単位	人	
単位当たりコスト(円)	3,196		2,523				
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表の見直し等を行い利用者を増やしていく。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	薬草試験栽培委託事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	製薬業発祥の地宇陀市として「薬草のまちづくり」を推進し宇陀市の賑わい創りに資する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	8	うだ賑わい創り事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業活性化 ・ 第5章 第2節 商工業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市における薬草栽培のデータ収集・資料作成委託費 2,400千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	薬草栽培データ・資料を基に市内において薬草栽培を推進し、宇陀市の新たな特産品とすることで、地域産業の活性化を図る。 具体的には、薬草産地となることにより薬品会社の工場等の施設を誘致したり、薬草加工品、薬膳料理、薬湯などにより経済や観光の刺激策とする。 また、遊休農地、耕作放棄地の解消を行うことにより、自然環境の保全が図れる。				使用料		
					国費	2,400	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A	2,400
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B	2,400					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/		合併市町村補助金 2,400千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	消費の拡大と地域商工業の活性化				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	室生寺ライトアップ設備設置事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)				
事業の目的	さまざまな地域資源や歴史・文化遺産を活用した賑わい創りに資するため、室生寺をライトアップするための設備を購入し、地域、室生寺及び市の協働によるイベントにより、地域の賑わいと交流人口の増加を図る。				宇陀市一般会計予算		
					区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	8	うだ賑わい創り事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H25年度事業の概要	ライトアップ設備備品購入 10,000千円 室生寺前太鼓橋から五重の塔までの間に照明設備を設置し、紅葉の時期に地元、室生寺、宇陀市との協働によりライトアップイベントを行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	宇陀市において最も有名な観光地である国宝室生寺であるが、その観光客数はピーク時の50万人から16万人と3分の1以下となっている。 この事業により観光客(交流人口)の増加を図り、宇陀市全域のPR及び地域の賑わいをとりもどす。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債		10,000					
その他							
一般財源							
H25予算額		A	10,000				
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B	10,000					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/		過疎対策事業債 10,000千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績	単位	単位					
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	室生寺の観光客増により市民の文化交流や親善を図り、交流人口の増加に寄与する。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	23	大宇陀南部線運行事業費							
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実								
H25年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域に市営有償バスを運行する 運行便数:6便/日 使用料:大人250円 小人100円				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	平成23年度において、延べ4,080人の利用(1日平均11.3人)があった。 平成22年度に比べ利用者が65人増となった。				使用料	850			
					国費				
					県費				
					市債				
					その他	417			
					一般財源	3,682			
					H25予算額	A	4,949		
					H24当初予算額	B	5,656		
H24現計予算額	5,656								
増減額	A-B	▲ 707							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況 大宇陀南部線使用料 850千円 地元協力金 417千円				
決算額又は決算見込額(千円)		5,509	4,700						
従事職員数【人工】		0.10	0.10						
人件費(人工×8,000千円)		800	800						
総事業費:人件費含む(千円)		6,309	5,500						
活動指標名		利用者数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		4,080	単位	人			4,000	単位	人
単位当たりコスト(円)		1,546	1,375						
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表、運行経路の改善を行い利用者を増やしていく。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)					
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び、公共交通空白地域の交通手段の確保を目的として、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助金を交付する。				区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	40	菟田野地域事務所 企画費						
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H25年度事業の概要	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域を1日3便運行する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成23年度の実績として、日に3便の運行で227日運行し、1日の平均乗客数は約3人で、年間661人が利用した。 利用目的として、高齢者世帯の買い物や通院での利用がほとんどで、該当地域の人々にはなくてはならない重要な交通手段となっている。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源		1,645	
					H25予算額	A	1,645	
					H24当初予算額	B	1,730	
H24現計予算額		1,710						
増減額	A-B	▲ 85						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,419	1,730					
従事職員数【人工】		0.005	0.005					
人件費(人工×8,000千円)		40	40					
総事業費:人件費含む(千円)		1,459	1,770					
活動指標名		利用者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		661	単位	人		735	単位	人
単位当たりコスト(円)		2,207	2,408					
事業の目標	地域に根ざした、より効果的な交通手段の確保。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費						
根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例							
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H25年度事業の概要	室生地域において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを廃止し、デマンド型乗合タクシーを本格運行する。 運行便数：6便/日 使用料 300円(同一エリア) 500円(複数エリア)				財源の内訳 (単位:千円)			
	平成22年度より宇陀市地域公共交通活性化再生協議会において実証運行しており、平成23年度においては、1日平均22.6人の利用であった。 平成24年度より本格運行しており、上半期においては、1日平均20.2人の人が利用している。				分担金 使用料 2,232 国費 県費 市債 その他 一般財源 10,118 H25予算額 A 12,350 H24当初予算額 B 13,258 H24現計予算額 13,258 増減額 A-B ▲ 908			
事業の成果								
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		12,084	12,000		デマンド型乗合タクシー使用料 2,232千円			
従事職員数【人工】		0.70	0.70					
人件費(人工×8,000千円)		5,600	5,600					
総事業費:人件費含む(千円)		17,684	17,600					
活動指標名		利用者数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		5,494	単位	人	5,056	単位	人	
単位当たりコスト(円)		3,219		3,481				
事業の目標	1台平均利用者数が2人以上になるように努め、効率的な運行を目指す。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保			

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金					
所管課	41	総務課	(総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置事業に要する経費について補助するもの。				区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	10	生活安全対策費	
					細目			
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H25年度事業の概要	防犯灯設置事業補助金の対象となる経費、補助金 (1基あたり)				財源の内訳 (単位:千円)			
	補助対象経費		補助金額		分担金			
			蛍光灯	LED	使用料			
	防犯灯の新設	10千円	14千円		国費			
既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円		県費				
照明器具の更新	3千円	7千円		市債				
使用電力の低減を図り、CO ₂ 削減効果が大きく長寿命であるLED防犯灯に対する補助金を新設することで、LED化の促進と防犯灯設置の拡充を図る。								
事業の成果	防犯灯補助金交付実績 (単位:基)					その他		
	補助対象区分	H19	H20	H21	H22	H23		
	防犯灯の新設	9	18	16	20	12	一般財源	598
	既設電柱に照明器具の新設	25	30	27	15	5	H25予算額	A 598
	照明器具の更新	54	68	39	28	9	H24当初予算額	B 456
	計	88	116	82	63	26	H24現計予算額	456
							増減額	A-B 142
事業のコスト		平成23年度(実績)		平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		177		456				
従事職員数【人工】		0.05		0.03				
人件費(人工×8,000千円)		400		240				
総事業費:人件費含む(千円)		577		696				
活動指標名		補助金交付件数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		26	単位	件	55			単位
単位当たりコスト(円)		22,192		12,655				
事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。 LED灯の補助金額を設定することで、防犯灯のLED化の推進を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)防犯灯、交通安全施設の整備		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅建築工事・リフォーム工事助成事業			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市内の住宅関連業者の育成・支援と、市民の居住環境の向上による定住促進を図るため、市内業者を利用して住宅の建築又はリフォーム工事を行う市民に助成を行う。助成については、現金でなく市内で利用できる「ウッピー商品券」を交付することにより、さらに市内商店の活性化支援を目的とする。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	17	まちづくり支援費	
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	「宇陀市経済対策としての住宅工事・リフォーム工事助成事業に関する要綱」					
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築					
H25年度事業の概要	市内に住所のある個人が居住する住宅を、市内の事業者に依頼して修繕、補修、増築等のリフォーム工事を行うとき、市内で買える物ができる宇陀市発行の「ウッピー商品券」を交付する。 対象経費が50万円以上の工事に対し、補助対象経費の10%分(上限額10万円分) 〔予算額〕 補助金 商品券 10万円分×80件=8,000千円 通信費 15千円		財源の内訳 (単位:千円)			
			分担金			
事業の成果	住宅の所有者にとっては生活環境の向上と投資額の軽減が図れる。快適な住宅機能を維持することにより、市民の転出や空き家の増加を防ぎ定住促進を図ることが出来る。 また、市内における建築関連事業者の営業活動が活発となり、リフォーム工事等が増加するとともに、市が1割分の商品券を交付することで、建築業者には予算額の10倍以上の経済効果が期待できる。 さらに宇陀市内限定の「ウッピー商品券」を交付することで、宇陀市内の商工業振興が図れる。		使用料			
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
			一般財源	8,015		
			H25予算額	A	8,015	
			H24当初予算額	B	3,000	
H24現計予算額		6,000				
増減額	A-B	5,015				
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/					
従事職員数【人工】						8,000
人件費(人工×8,000千円)						0.50
総事業費:人件費含む(千円)						4,000
活動指標名	実施件数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	単位	80	単位	件		
単位当たりコスト(円)	/		150,000			
事業の目標	市内流通の商品券をもって住宅リフォームの奨励をすることにより、市の経済の活性化を図るとともに市民の生活環境の向上ができる。		<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (2)住宅建築・リフォーム工事助成事業			

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	産業振興の推進(プロジェクト)					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	平成24年7月に産業振興会議から宇陀市における産業振興のための提言書が提出されたが、これに関する市の産業振興の取り組みを総合的にコーディネートし、また、推進体制を確立する。			区分	No.	区分名		
				款	2	総務費		
				項	1	総務管理費		
				目	17	まちづくり支援費		
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第5章 地域資源を活かした産業・交流振興のまち							
H25年度事業の概要	提言に関係する業務担当者により推進体制を確立する。 ○インターネット等による特産品等の発信・通販の調査検討 252千円 ○有機農業の情報発信(ホームページ) 400千円 ○市民が中心となって生産・販売し収益を得る仕組み作りの検討等 123千円			財源の内訳 (単位:千円)				
				分担金				
事業の成果	産業振興会議で提言された事業を推進する。(インターネットによる情報発信・市民が中心となる仕組み作り等)			使用料				
				国費				
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源	775			
				H25予算額	A	775		
				H24当初予算額	B			
H24現計予算額								
増減額	A-B	775						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	/							
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績						単位	単位	人
単位当たりコスト(円)								
事業の目標	「ひと・モノ」資源を活かす産業と観光がつくる宇陀市に向けて取り組みを進める。		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (2)産業振興の推進				

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	特産品等認定・開発補助事業			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市内で生産された農林水産物等について認定基準を定め、特産品・名産品として認定することにより、消費者の信頼を高め普及と需要の拡大を図ることで地域産業の活性化に資する。 また、市内で生産された農林水産物を活用した、魅力ある特産品等の新規開発事業に補助金を交付する。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	「宇陀市特産品等認定に関する要綱」・「宇陀市特産品等開発補助事業に関する要綱」					
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化					
H25年度事業の概要	【認定】 特産品・名産品について認定基準を定め、これに適合する商品に認定マークを表示することにより付加価値の向上に資する。 [予算額] 需用費 5千円			財源の内訳 (単位:千円)		
	【開発】 魅力ある商品の新規開発に係る必要最小限の費用を助成することで新たな地域ブランドの構築を図る。 [予算額] 負担金、補助及び交付金 500千円					
事業の成果	宇陀市の特産品・名産品を奨励していくことで、地域産業の活性化を図れる。			分担金		
				使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	505	
				H25予算額	A 505	
				H24当初予算額	B 507	
				H24現計予算額	507	
				増減額	A-B ▲ 2	
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	2	439				
従事職員数【人工】	0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)	1,602	2,039				
活動指標名	認定数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	36	単位	件	46	単位	
単位当たりコスト(円)	44,500			44,326		
事業の目標	認定商品の販路の拡大と付加価値の向上を目指す。 また、新規商品の開発補助事業を活用していただき、新たな特産品を生み出す。			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (8)宇陀市特産品等認定・開発補助事業		
備考						

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市まちづくり活動応援補助金			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	この補助金は、市内で活動する団体が行う新たな取組みに対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、市民による主体的及び地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	宇陀市まちづくり活動応援補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生					
H25年度事業の概要	審査員謝礼 34千円 プレゼン時託児(子育てサポートクラブ)賃金 4千円 需用費 14千円 通信費 4千円 まちづくり活動応援補助金 2,600千円			財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 ○市民活動が持つ特性を生かした市民ニーズに基づいた事業の実施 ○行政活動の補完、代行、補助的な事業実施 ○自立した活動ができる団体の育成			分担金		
使用料						
国費						
県費						
市債						
その他						
一般財源				2,656		
H25予算額				A 2,656		
H24当初予算額	B 2,855					
H24現計予算額	2,855					
増減額	A-B ▲ 199					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		3,796	2,832			
従事職員数【人工】		0.40	0.40			
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200			
総事業費:人件費含む(千円)		6,996	6,032			
活動指標名		採択団体数				
活動指標の算式		—				
活動指標の実績		10 単位 団体	8 単位 団体			
単位当たりコスト (円)		699,600	754,000			
事業の目標	市民団体等が活動するうえでの課題である財源確保の面から活動を支援することによって、市民活動の活性化と団体の自立を図るとともに、市民参加のまちづくりを推進する。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (1)まちづくり活動応援補助金の活用	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	地域・NPO支援講座(SB・CB)				
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	高齢者・障害者福祉、子育て支援、買い物弱者対策など、社会や地域の様々な課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスやコミュニティビジネスに対する注目が集まっている。 ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスに取り組む人材の育成や、支援者の養成などを目的として、講座を実施する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生						
H25年度事業の概要	講師謝礼 180千円 旅費 15千円 需用費 1千円 通信費 5千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	当講座への受講者がコミュニティビジネスに向かうきっかけとなり、産業の振興やコミュニティ活動が充実していくことが期待される。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					201		
H25予算額					A 201		
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 201						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位 人					
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	多くの地域・NPOは、ヒト・モノ・カネ不足に悩まされている。この講座の実施により市内で活動する地域やNPOがソーシャルビジネスやコミュニティビジネスに取り組むノウハウを習得し、活動資金の確保や人材の育成、支援者の養成などにつなげてもらいたい。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (2)地域・NPO支援講座	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会設立促進(協働推進)			
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)			
事業の目的 地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を目指す。 また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で『いきいきした地域づくり』ができるよう応援する。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	17	まちづくり支援費	
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	「宇陀市まちづくり協議会設立検討会補助金交付要綱」・「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」					
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり					
H25年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 677千円 リーダー作り勉強会(150千円) まちづくり協議会支援委託料(300千円) 周知・事務費等(227千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
	○まちづくり講演会 150千円 ○協議会設立検討会補助金 1,300千円 ○いきいき地域づくり補助金 7,000千円 ○地域支援員賃金 5,113千円			分担金		
事業の成果	○地域自治区や地域協議会の廃止後における、市民主体のまちづくり組織が形成される。 ○行政側からの押しつけでなく、自らが考えることで、地域の実情に応じた活動しやすい組織が生まれる。 ○いきいき地域づくり補助金の活用により、地域課題に応じた事業が実施できる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	14,240	
				H25予算額	A 14,240	
H24当初予算額	B 14,364					
H24現計予算額	14,364					
増減額	A-B ▲ 124					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	313	4,685				
従事職員数【人工】	1.50	1.50				
人件費(人工×8,000千円)	12,000	12,000				
総事業費:人件費含む(千円)	12,313	16,685				
活動指標名	準備委員会の進捗率	検討会・協議会設置地域人数				
活動指標の算式	—	—				
活動指標の実績	100.0 単位 %	22,657 単位 人				
単位当たりコスト(円)	123,130	736				
事業の目標	まちづくり協議会設立検討会の設立、さらには、まちづくり協議会の設立を目指す。 設立後のまちづくり協議会は、自主的に地域の課題解決に取り組み、地域の元気を創出する組織へと成長を促す。					備考

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク事業						
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)			宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 定住促進奨励事業等も併せて行う。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	17	まちづくり支援費		
細目	1	まちづくり支援費							
根拠条例等	「宇陀市空き家情報バンク設置要綱」								
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築								
H25年度事業の概要	【空き家情報バンク】 〔予算額〕 チラシ折込等 71千円 通信費 5千円				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業の成果	【空き家情報バンク】 市内の空き家情報の収集や広域圏への周知を市が行うことで空き家の有効活用と人口増加を目指し、市と協定を交わした宅地建物取引業者を介して取引を奨励する。				分担金			
使用料									
国費									
県費									
市債									
その他									
一般財源							76		
H25予算額						A	76		
H24当初予算額	B	81							
H24現計予算額		81							
増減額	A-B	▲ 5							
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	646	81							
従事職員数【人工】	0.30	0.30							
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400							
総事業費:人件費含む(千円)	3,046	2,481							
活動指標名	バンク登録物件数								
活動指標の算式	—								
活動指標の実績	31	単位 件				28	単位 件		
単位当たりコスト(円)	98,258					88,607			
事業の目標	所有者に制度を周知し、空き家は地域活力や人口増加の受け皿であることを定着させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (4)宇陀市空き家情報バンクの活用		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	定住化と人口増加及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。 さらに、地元経済活性化のため奨励金を宇陀市発行の「ウッピースタンプ商品券」で交付する。		区分	No.	区分名			
			款	2	総務費			
			項	1	総務管理費			
			目	17	まちづくり支援費			
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	「宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱」							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H25年度事業の概要	【定住促進奨励事業】 【予算額】 通信費 6千円 補助金 (商品券) 転入者 1件100千円×40件=4,000千円 市民 1件50千円×20件=1,000千円			財源の内訳 (単位:千円)				
	【定住促進奨励事業】 市内に住宅を取得(新築か購入)した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。なお、H24年度より奨励金を宇陀市発行の「ウッピースタンプ商品券」での交付に移行し、市内の商工業振興を図っている。これを継続することで定住促進と市内経済の活性化を図る。			分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 5,006 H25予算額 A 5,006 H24当初予算額 B 4,000 H24現計予算額 6,000 増減額 A-B 1,006				
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		2,100	4,800					
従事職員数【人工】		0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		4,500	7,200					
活動指標名		奨励金支給件数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		21	単位	件		54	単位	件
単位当たりコスト(円)		214,286	133,333					
事業の目標	市への信頼を高め、地域内の繋がりを維持させるとともに地元経済の振興を図る。			<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (5)定住促進奨励事業				

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業			
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	少子化対策の一つとして、結婚を望む独身の男女に対し、新たな出会いや結婚の機会の創出を支援することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運醸成を図る。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等	「宇陀市結婚支援事業実施要綱」					
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築					
H25年度事業の概要	○出会いパーティーの実施 [予算額] 委託料 300千円 ○イベントを通じて成婚し市に定住した場合の結婚祝金 [予算額] 報償費 50千円×2件=100千円			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	独身男女の出会いイベントを市が誘導することで、地域全体が若者の結婚を支援する機運を高められる。 また、申込者に「なら出会いセンター」への登録をしてもらうことで、センターが紹介する多くの出会いイベント情報が得られる。 さらに、参加者に宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じ、出会いを誘導しカップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他		
				一般財源	400	
				H25予算額	A 400	
				H24当初予算額	B 300	
H24現計予算額	300					
増減額	A-B 100					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		670	250			
従事職員数【人工】		0.40	0.30			
人件費(人工×8,000千円)		3,200	2,400			
総事業費:人件費含む(千円)		3,870	2,650			
活動指標名		参加者数				
活動指標の算式		—				
活動指標の実績		69	31			
単位当たりコスト (円)		56,087	85,484			
事業の目標	市が事業を実施し、また、結婚促進へのPRすることで、市に定住する夫婦を増やし、少子化を防ぐ。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (6)結婚支援事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	コンビニエンスストア収納導入事業				
所管課	62	税務課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	コンビニエンスストアでの市税等の収納を可能にすることにより、市民をはじめ市外・県外の納税者の皆様が、土・日曜日、祝祭日、早朝・夜間など、いつでもどこでも24時間市税等を自主納付できる環境を整備する。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	2	徴税費
					目	2	賦課徴収費
					細目	1	本庁賦課徴収費
根拠条例等	地方税法、宇陀市税条例等						
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上						
H25年度事業の概要	・コンビニ収納手数料 現年課税分 60円/1件×15,290件=917,000円 滞納繰越分 60円/1件×5,100件=306,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	コンビニ収納の導入により、早期納付のための利便性を高め、現年度納付の納期内納付を推進することにより、滞納を未然に防止させていくことが期待される。 また、合併前より行ってきた定期訪問徴収から自主納付を奨励し、定期的訪問徴収職員のコスト削減を図る。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源						1,223	
H25予算額	A	1,223					
H24当初予算額	B	4,056					
H24現計予算額		4,056					
増減額	A-B	▲ 2,833					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,056					
従事職員数【人工】		0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		5,656					
活動指標名	コンビニ収納件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績		単位	0				単位
単位当たりコスト(円)		—					
事業の目標	自主納付の推進と市税の納期内納付の奨励及び徴収率のアップをめざす。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (3)歳入面からの改革改善の取組み		